

# 大東市民憲章

(昭和46年10月1日制定)

大東市は飯盛、生駒を東にのぞむ美しい風土と人情のもとに、  
魅力ある近代都市へと発展するまちです。

わたくしたちは、このまちに住む市民であることを誇りとし、  
わたくしたちの手で、ほんとうに住みよいまち大東市を建設  
するために、この憲章を定めます。

## わたくしたち大東市民は

1. 自然を愛し、環境をととのえ 心をあわせて美しいまちをつくりましょう
1. たがいに尊敬し、はげましあい 心をあわせて明るいまちをつくりましょう
1. ことばをただし、礼儀をまもり 心をあわせて秩序あるまちをつくりましょう
1. 健康で、働くことによるこびをもち 心をあわせて豊かなまちをつくりましょう
1. 伝統をたっとび未来をそだて 心をあわせて文化のまちをつくりましょう



**市の木：さんごじゅ** (昭和46年10月1日制定)  
さんごじゅは、秋に赤い実をつけるたいへん美しい  
木です。その実がサンゴのように見えるので「さん  
ごじゅ」と名づけられています。水分を多く含んで  
いるので、防火樹としても役立ちます。



**市の花：菊** (昭和46年10月1日制定)  
菊は、もともと中国から薬草として日本にやってき  
ました。気品があって、美しい花なので見て楽しむ  
花として親しまれるようになりました。大東市でも  
多くの人たちが、菊づくりを楽しんでいます。



これが大東市の市章です。  
市民から募集して定められ  
ました。「大とう」の文字を  
かたどっています。

(昭和31年8月1日制定)

昭和31年4月1日に南郷  
村・住道町・四条町が合併し  
て、大東市が生まれました。  
大阪の東にあること、  
「光は東から」という未来  
への発展を祈って名づけら  
れました。



大東市民憲章推進協議会